

地域総合研究所2008（平成20）年度研究活動報告

所長 渋谷 敦 司

はじめに

2008（平成20）年度末にあたり、本年度の活動報告および研究所活動の課題、次年度活動計画等について報告する。今年度の当初計画の中では、研究所所員が関わっている学内の多様な研究プロジェクトや ICAS（茨城大学地球変動適応科学研究機関）の活動との有機的な連携という課題を掲げ、その課題については以下で報告する研究例会を通じてかなりの程度目標達成されたと考える。また、この研究例会をはじめとした研究活動を通じて、地域総合研究所と地域社会との双方向的な情報発信、ネットワークの形成も促進されたと考えている。

1. 学際的な地域研究の拠点活動

(1) 研究例会

- 4月30日（水） 「常陸大宮市『森を活かしたまちづくり』共同研究について」
報告者：西野 由希子氏（人文学部）
「茨城県及びおがわふれあいの森の植生について」
報告者：堀 良通氏（理学部）
- 5月28日（水） 「パートナーシップ制度と生活」
報告者：齋藤 笑美子氏（人文学部）
- 6月25日（水） 「気候変動影響評価：緩和策・適応策の社会・経済学的分析」
報告者：田村 誠氏（茨城大学地球変動適応科学研究機関 ICAS）
- 7月23日（水） 「社会的排除と社会運動：フランスと日本における都市底辺労働の組織化」
報告者：稲葉 奈々子氏（人文学部）
- 10月22日（水） 「フィリピンの地域コンフリクトにおける地域住民の生存の知：ネグロス島
シテオ・バイスの事例から」
報告者：蓮井 誠一郎氏（人文学部）
- 11月26日（水） 「大洗調査プロジェクト・アクアワールド茨城県大洗来館者の
観光行動特性に関する調査報告」
報告者：小原 規弘氏（人文学部）
- 12月24日（水） 「大洗をフィールドにした環境人材実習とサステナビリティ学教育」
報告者：原口 弥生氏（人文学部）・
上柿 崇英氏（茨城大学地球変動適応科学研究機関 ICAS）
- 1月29日（水） 報告テーマ1 「若者におけるポピュリズムの支持基盤」
報告者：松谷 満氏（桐蔭横浜大学）
報告テーマ2 「東海村農村地域の開発と居住者の意識」
報告者：乾 康代氏（教育学部）
- 2月24日（火） 「霞ヶ浦導水事業とアユ裁判」
報告者：二平 章氏（茨城県水産試験場・北日本漁業経済学会理事）

(2) 鹿嶋研究センター研究会

① 市議会活動の実態調査

市議会における議員活動を、傍聴記録などの調査を行い、行政課題毎に公約の実現化などを点検してきた。

② 訪日修学旅行受入による国際交流観光都市づくり

企画案を作成し、提案するとともに、国交省、茨城県主催のキャンペーンに出展した。茨城大学ほか地場の関係諸団体の協力取り付けや推進協議会設立に向けて活動してきた。

③ 「鹿嶋人ギャラリー」開設準備

「鹿嶋人ギャラリー」は、鹿島神宮前商店街の活性化を目的に、鹿嶋研究センターが中心になって企画したチャレンジ・ショップである。この企画案はH20年度の「茨城県がんばる商店街活性化コンペ」に入賞し、H21年3月1日オープンを目指し作業を進めてきた。ここでは、レンタルブースによる手づくり品販売、手づくり工房と展示ギャラリー、情報発信拠点を併せもつ店舗で、“わが街 鹿嶋”にこだわった店舗を目指している。

④ 「鹿嶋ものしり事典」

“鹿嶋っ子”育成の観点で、鹿嶋の歴史、文化、自然、スポーツ、産業、食などの郷土の特徴をもつ事象を、一冊の豆事典として収録すべく、編集作業に取り組んできた。

⑤ 鹿嶋市滞在型市民農園検討会「健康交流農園」基本構想策定作業への参画。

⑥ その他

- ・学生、院生の卒業論文、修士論文作成のための調査支援活動。
- ・市の各種審議会、委員会委員への就任、委員としての活動の展開。

(3) ひたち未来研究会

5月30日(土) 第8回ひたち未来シンポジウム

「防犯力を高めるまちづくり」 於：茨城大学工学部

(4) 福祉部会

部会担当者である松村所員の指導の下で、NPO法人「介護支援いばらき」のメンバーが中心となって、毎月第二水曜を定例として高齢者介護の実践的課題について12回の研究会を行った。

(5) 県北政策研究会

2008年

4月16日(水) 常陸太田市鯨が丘の建造物調査とその活用について

6月11日(水) 常陸太田市中心街の長期ビジョンと短・中期の活性化プログラムの構築

8月27日(水) 佐竹氏の街づくりを現代に生かす常陸太田中心街のまちづくり

10月29日(水) (1) 鯨が丘来訪者・事業者へのアンケート結果

(2) 「ホープ計画」等の検証・読み込みと活かし方

2009年

1月28日(水) 研究会の経過報告と中間総括、今後の進め方

2. 自治体職員等の研修・公開講座

- 4月27日（日） 茨城県視覚障害者の生活と権利を守る会 一般市民，ボランティア対象
講演テーマ「平和学でいまを考える」
（担当：蓮井誠一郎 所員）
- 5月12日（月） 茨城県議会保健福祉委員会 参考人報告 対象：茨城県議会議員及び県庁職員
報告テーマ「次世代育成支援について」
（担当：清山 令 所員）
- 8月2日（土） 常陸太田市男女共同参画セミナー講演 市職員および一般市民対象
講演テーマ「男女共同参画の視点からワーク・ライフ・バランスについて考える」
（担当：渋谷 敦司 所員）
- 8月25日（月） 茨城県保健福祉部福祉指導課 新任民生・児童委員研修会講演
新任民生・児童委員および市町村職員
講演テーマ「災害時要援護者の現状と対策」
（担当：有賀 絵理 客員研究員）
- 10月22日（水） 茨城県 茨城県労働学院講演 茨城県内企業の経営者・勤労者・県庁職員対象
講演テーマ：「ワーク・ライフ・バランス」
（担当：清山 令 所員）
- 11月25日（火） 笠間市連合民生委員児童委員協議会 研修講演 市の民生・児童委員対象
講演テーマ「災害時要援護者の現状と取り組み」
（担当：有賀 絵理 客員研究員）
- 12月6日（土） 茨城県社会福祉協議会 防災ボランティアリーダー研修会研修講演
県社協職員，民生・児童委員，県社協防災ボランティア対象
講演テーマ「災害時要援護者の避難の状況と今後」
（担当：有賀 絵理 客員研究員）
- 12月18日（木） 北茨城市社会福祉協議会 防災ボランティア養成講座講演
一般市民，市社協職員対象
講演テーマ「災害時要援護者に対するボランティアの役割」
（担当：有賀 絵理 客員研究員）

3. シンポジウムの開催

- 5月30日（土） 第8回ひたち未来シンポジウム
「防犯力を高めるまちづくり」 於：茨城大学工学部
- 11月29日（土） 「水辺活動研究会」研究発表会と公開座談会 大洗文化センター

4. 図書出版

1999年9月に東海村で発生した臨界事故後に地域総合研究所が取り組んだ科学研究費プロジェクト（報告書『東海村臨界事故と地域社会』（茨城大学地域総合研究所年報別冊，2002年3月刊行）の成果を出発点にして，東海村と茨城大学の共催事業として継続してきた公開講座「原子力施設と地域社会」の講義記録を，公開講座のコーディネーターを務めてきた熊沢所員，帯刀所員，有賀客員研究員が中心となって編集作業を行い，一般向け書籍（『原子力施設と地域社会－東海村臨界事故からの再生 10年目の証言－』

文眞堂, 2009年2月刊行)として出版した。

5. 運営委員会・所員会議

- (1) 茨城大学地域総合研究所運営委員会
2008年度運営委員会：2009年3月25日
- (2) 所員会議
各月研究例会開催時に実施した。